

備えあれば憂いなし! ~地区部会主導による避難所運営委員会~

本号では、災害に備えた取組みを地区部会主導で進めている301(作草部・天台)地区部会(以下「301地区部会」)を紹介します。



災害時に役立つ「ホットタオルの作り方」を講座で学びます

ーマップ作成から防災連絡会の立ちあげへー

301地区部会は、地域の多様な団体や住民が一丸となり、「毎日を安心して暮らせるまちづくり」に向け、様々な活動を行っています。中でも防災対策については、地域全体で取り組むべき共通の課題として、東日本大震災の4年前(平成18年度)には防災・防犯マップを作成、その2年後には防災連絡会を設置するなど、町内自治会等の協力を得ながら、地域連携の“要”である地区部会が活躍しています。

ーいちはやくー

市が進めている避難所運営委員会の設立の必要性にいち早く着目した

301地区部会では、エリア内に4か所ある避難所を包括的に運営できるよう「39地区内設置避難所運営委員会」を設置しました。都賀小学校で行われた本年の市合同防災訓練では、実際に避難所の開設・運営に取り組みました。また、町内自治会の中には年1度の訓練に併せて、多くの方々の参加が得られるよう餅つき行事を開催するなどの工夫をこらしています。

これらの取組みでの、住民一人ひとりの危機意識の高さは特筆すべきものでしょう。

抜群のチームワークが地域連携の源となっている301地区部会。「笑顔であいさつ、優しさあふれるまちになるといいですね。」と地域への思いを部会長は話されています。



地域を思う沢山の方が集います(301地区防災連絡会)

「回転備蓄」をご存じですか?

皆様のご家庭では、災害に備えて食料など防災用品の準備をされていますか。防災月間には、蓄えた食料の賞味期限や懐中電灯の乾電池が使えるかなどを、いざという時に役立つように確認しておきましょう。食べたい食料を多めに買って置き、使ったら追加するなどして、備蓄品を使って入れ替えることを「回転備蓄」といいます。もし、賞味期限間近の食品があったら、調理して食べたり、地域に役立ててはいかかでしょうか。

調理して食べる

千葉市食生活改善推進員おすすめ!
備蓄食料品活用レシピ

『サバ味噌トマトカナッペ』



おつまみや
前菜に。

サバの味噌煮缶詰、トマト水煮缶詰、乾燥マッシュポテトを混ぜ合わせて、クラッカーにのせればできあがりです!

地域に役立てる

「フードバンクちば」に寄付する

フードバンクちば」では9/16~10/31に第8回「フードドライブ」(家庭で余った食品を持ち寄り、食料の確保が困難な団体や個人を支援する活動)を実施しており、本会も共催しています。

《ご寄付いただきたい食品》

- ・お米 ・缶詰 ・乾物 ・飲料
- ・インスタント・レトルト食品 など

《ご寄付いただきたい食品》

- ・賞味期限が1か月以上あるもの ・未開封のもの
- ・破損していないもの

問合せ先

地域福祉推進課 推進係
TEL: 043-209-8869